

日本人の気質は何も知らない西洋の観察者にとって不可解ですが、親交を深める上で理解しなくてはならないものでした。その過程は、毎年楽しみに待ち望んだクリスマスカードが見事に助けてくれました。彼は努力の後継者であり、重要な位置に居ました。届いたカードには大きな要素が隠されたメッセージとして入っていて、そこには教訓もありました。それらのカードは全部大切なものとしてとってあります。人を奮起させ、二つの異なった文化に等しく届けるメッセージを作る事の出来る人なのです。この架け橋は小さな物事を通して一人の人間によって作られたものなのです。

初版の本や、大きな飾り用の扇子、小さな彫刻物、美しい芸者の人形は言うまでもなく、私の家に飾ってあります。その一つ一つには物語があり、教養を伴うものです。訪ねて来た人は皆いつもそれらについて質問をし、石黒隆敏氏から丁寧に教えてもらった教養を一つ一つ詳しく答えています。

彼は半世紀前の“固定概念”を卓越した人であり、日本の形式から国際世界へ移り住み、二つの文化の架け橋となり、アメリカの事柄を彼の仲間と日本の事柄をガイジンの友達に通訳することとなったのです。

それはまれな才能であり、すばらしい功績者なのです。

Lehr氏は、日本のヒルトンホテル（東京、大阪、名古屋、東京ベイ）の基本設計者（設備）で、ニューヨークのコンサルティングエンジニア協会会長の履歴を持つ。ダイキンVRVシステムのアメリカでの最初の設計実現にPES Internationalと協働で貢献した。その後世界的プロジェクトにVRVシステムを積極的に採用している。ダイキンVRVを深く理解しているエンジニアである。



クリスマスカード



左端がレア氏